

## 陸上自衛隊高等工科学校から防衛大学校に合格！ 「あなたは家族の誇りです」

神奈川地本厚木募集案内所（所長 岡山 1海尉）は、1月5日（金）、当案内所を通じて陸上自衛隊高等工科学校に入校した現在3年生の岡野貴晴生徒から、防衛大学校合格の報告を受けた。

来所した岡野生徒は「防衛大学校は高等工科学校に入校する前からの目標でした。1年生の時は、余裕がなく受験勉強に思うように取り組めませんでした。2年生からは平日の夜間や休日を活用して勉強を続けました。高工校はそれぞれの可能性を応援してくれる学校です。陸自ヘリコプターパイロットを目指し、防大では、航空宇宙工学科とグライダー部を希望しようと思いましたが、一般の高校の卒業生に負けられないよう頑張ります」と話した。

また、防大卒業生の厚木募集案内所長と懇談し、学校生活のアドバイスなどを嬉しそうに聞いていた。

今回の合格について、岡野生徒が小学生の頃から募集案内所を訪れるなどして支え、見守り続けている母親は「周囲の人に、一般の高校に進学してから防大を目指したほうが良いのでは、など色々な事を言われながらも、防大に入りたいという、ずっと前からの思いを、ブレずに、流されずに、よく頑張った。あなたは家族の誇りです。あなたの思う立派な自衛官になってほしい」と話していた。

厚木募集案内所は、今後も真心を大切に、一人ひとりを丁寧にサポートしていくとしている。



3年前、高等工科学校に合格した頃の岡野生徒



防衛大学校に合格し案内所を訪れた岡野生徒

## 神奈川県内企業主等が第1空挺団降下訓練を研修 「県内援護協力企業の事業に協力」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野太資）は、1月12日（金）、習志野演習場で行われた陸上自衛隊第1空挺団降下訓練始めの企業研修に協力した。

本研修は県の援護協力会である自衛隊神奈川援護懇話会が主催したもので、参加企業主等14名は、冬晴れの青空の中、各種航空機から次々と降下する空挺隊員の勇姿に歓声を上げ、自衛官が在隊間に培う徹底された統率力と強い責任感への認識をさらに深めていた。

同会には約200の県内企業が加盟しており、退職自衛官雇用にも多大な協力を受けていることから、神奈川県は「今後も県の援護協力会に積極的に協力して、自衛官の有用性を広報していく」としている。

参加した企業主のコメント

「厳しい環境の中で、過酷な訓練に励んでいることがよくわかった。任期満了や定年退職後には、是非ともわが社に再就職してもらい、自衛隊で培った強靱な精神力や責任感を発揮してもらいたい」

